

3年選択英語2 学習指導案

日 時 2005年12月16日(金) 6教時
生 徒 西中学校 第3学年英語2コース(11名)
指導者 豊田 一 正

1. 題材名 表現活動 (Make a Story !)

2. コースの特色

今年度から習熟度別の選択授業が開設され、英語2では、今までの学習を復習し「力」をつけることや、発展的な内容（自己表現やコミュニケーション活動など）の活動場面も多く取り入れようと考えスタートした。前期はゲーム形式の活動、日常の授業では時間的に取り組めない内容や、ALTにも協力してもらい自己表現活動も多く行うことができたが、文法事項の復習は不足したように感じている。そこで、後期は生徒のニーズや受験のことも考え、復習（プリントの活用や補足説明、定着）や表現活動をバランス良く取り入れ進めて行きたいと考えて行っている。

3. 生徒の実態

生徒は、11名であるが実質は9名で行っている。（不登校2名、前期と同じ選択生徒2名）学力的な面では、4評定5名、3評定3名、2評定1名でやや意欲・活動の面で差も見られるが、学習態度は真面目であり、与えられた課題にもしっかり取り組むことができる。生徒のニーズとしては「復習して力をつけたい」「発展的な使える表現を身に付けたい」という意識を持っているようである。また、「英語が苦手だから」ということで選択した生徒もおり、基礎的な語彙力、文法事項が欠如している面も見られるが、教師側の個別指導や友達と協力しながら活動している。

4. 題材（単元）の目標

- 既習事項を活用して、積極的に表現活動を行うことができる。
- 初歩的な英語を読んだり、話したりすることができる。
- 自分の言いたいことなどを、英語で書くことができる。

5. 指導計画

色々な表現の復習	疑問文、否定文、疑問詞、時制	・・・2時間
	不定詞、比較表現	・・・2時間
	現在完了、現在。過去分詞	・・・2時間
	表現活動	・・・3時間(本時 2/3)

6. 本時の目標

- 間違いを恐れず、積極的に英語で表現活動をすることができる。
- 英語を読んだり、自分の言いたいことなどを簡単な英語で書くことができる。

7. 本時の評価

	ア関心・意欲・態度	イ表現の能力	ウ理解の能力	エ知識・理解
上位の到達度	英語での応答を継続して行うことができる。	自分の表現したいことを積極的に書くことができる。	主として自分の力で英語(英文)の内容を理解できる。	
下位の到達度	英語での応答をすることができる。	教師の援助で自分の表現したいことを書くことができる。	教師の援助で英語(英文)の内容を理解できる。	

8. 本時の展開

	学習内容	生徒の活動	教師の活動	留意点 (評価の観点)
導入	あいさつ 日常会話 単語の復習	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 英語で応答する。 既習単語を復習する。 	<ul style="list-style-type: none"> あいさつをする。 英語で質問する。 (昨日のこと、週末の予定) 机間巡視 (3 min.) 	(上ア) (下ア)
展開	ウォームアップ Make a story !	<ul style="list-style-type: none"> STOP (語彙の発展) 活動を把握する。 既習事項を活用して自分の表現したいことを英語で書く。 既習事項を活用して英語(英文)を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアで活動する。 活動の説明と注意事項を確認する。(読む・書く活動) 机間巡視をして、授業で扱わない語彙のアドバイスや困っている生徒を支援する。 机間巡視をして、授業で扱わない語彙のアドバイスや困っている生徒を支援する。 	(上イ) (下イ) (上ウ) (下ウ)
まとめ	まとめ あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> できた話を発表する。 話し手の英語を聞き取る。 内容を理解する。 あいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 数名に発表させる。 補足説明をする。 あいさつをする。 	